

生産環境化学特論演習 (2単位)

担当者氏名 前田 良之・加藤 拓

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

生産環境化学分野の修士論文・博士論文研究を遂行するに不可欠な土壌学・肥料学・植物生理学・植物栄養学・分析化学・統計学など関連分野の知識をより一層深めると共に、各分野における課題を解決するため技能・能力を高めるためのトレーニングを行う。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

環境化学	環境ストレス	植物栄養	生態系
土壌	農業生産	肥料	分析化学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	オリエンテーション	講義の内容に関する解説と講義の進め方など	修士論文研究をスムーズに進めるために必要な講義を行う。 さらに、受講者による修士論文研究の計画や経過報告を、教員・学生間でお互いに論議しよう。
2	修士論文計画発表	修士論文研究の計画についてのプレゼン	
3	成分分析の歴史と基礎	成分分析の歴史と基礎について解説	
4	土壌診断の基礎	土壌診断調査法に関する基礎知識の解説	
5	植物栽培の基礎	植物栽培方法の解説	
6	データ処理の手法	データ処理、統計処理の解説	
7	PPT. 作成の基本	パワーポイント原稿作成方法の解説	
8	プレゼンテーションの基本	プレゼンテーションの効果的演出の解説	
9	研究関連論文の調査発表(1)	修士論文に関連する研究論文の紹介と内容解説	
10	研究関連論文の調査発表(2)	修士論文に関連する研究論文の紹介と内容解説	
11	研究関連論文の調査発表(3)	修士論文に関連する研究論文の紹介と内容解説	
12	研究関連論文の調査発表(4)	修士論文に関連する研究論文の紹介と内容解説	
13	研究関連論文の調査発表(5)	修士論文に関連する研究論文の紹介と内容解説	
14	修士論文経過発表(1)	修士論文研究の経過報告に関するプレゼン	
15	修士論文経過発表(2)	修士論文研究の経過報告に関するプレゼン	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
土壌学入門/ウィリアム・ダビン/古今書院 (2009)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
最新の資料を適時紹介する

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート (50点)・課題 (50点) で評価

◆オフィスアワー

担当教員に事前にメールで面談の日時を調整すること

◆その他受講上の注意事項

受講生によるプレゼンは学会発表のトレーニングでもあるので、十分な準備を整えて臨むこと